

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	生理学Ⅱ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	月曜・1限
担当教員	白木 豊				
授業概要	生理学Ⅰで学んだ細胞の機能は、生体のメカニズムを理解するため基本である。理解を深めるため、もう一度講義を行う。加えて、理学療法士として必ず理解しておく必要がある、筋の収縮機構、筋の力学に関しても再講義で理解を深めてもらいたい。生理学Ⅱは、さらに感覚・血液・循環・呼吸を範囲としている。				
学習目標	1 感覚:①体性感覚の受容、伝導路について概説ができる ②視覚・聴覚・平衡感覚・味覚・嗅覚の特殊感覚について説明できる 2 血液:①血球、血漿の働きについて説明できる ②止血、凝固について概説ができる 3 循環:①心電図の成因について説明ができる ②心周期について説明できる ③心臓のポンプ作用とその調節について概説ができる ④血圧について説明ができる、特に血圧の調節システムについて詳述できる 4 呼吸:①腹式呼吸と胸式呼吸の違いについて説明ができる ②呼吸気量の区分について説明ができる ③肺におけるガス交換の説明ができる ④呼吸の調節について概説ができる				
回数					担当教員
1回目	生理学Ⅰ復習 細胞の機能: 静止膜電位、活動電位の定義、成因を確実に理解する				白木 豊
2回目	生理学Ⅰ復習 筋収縮 筋力学: 筋収縮のメカニズム、筋収縮の形式について理解を深める				白木 豊
3回目	感覚総論: 体性感覚(一般感覚)の種類と、感覚が起こるメカニズムについて理解する				白木 豊
4回目	特殊感覚 視覚・聴覚・平衡感覚・味覚・嗅覚: 各特殊感覚の受容器の構造と機能について理解する				白木 豊
5回目	血液総論: 体液のなかでの血液の位置づけ、血液の働きについて理解を深める				白木 豊
6回目	血液各論 血球の機能・免疫・凝固・血液型: 各血球の働き、免疫への寄与、止血機構について理解する				白木 豊
7回目	心臓と循環 総論: 主に解剖学的見地から心臓・血管系の位置づけの理解を深める				白木 豊
8回目	心臓と循環 心電図: 心電図の成因を心筋細胞の電気的変化との関連で理解する				白木 豊
9回目	心臓と循環 ポンプ作用: 心周期について理解した後、心室の圧-容積関係、心機能曲線について学ぶ				白木 豊
10回目	心臓と循環 血圧の調節: 血圧が変化する要因を学んだのち、血圧の神経性、体液性調節について理解する				白木 豊
11回目	心臓と循環 静脈還流、臓器循環: 中心静脈圧(右心房圧)と心拍出量の相関について理解する				白木 豊
12回目	呼吸とガスの運搬 総論: 呼吸器系を解剖学的に総覧した後、呼吸の働き(外呼吸・内呼吸)について理解する				白木 豊
13回目	呼吸とガスの運搬 呼吸運動: 腹式・胸式呼吸のメカニズムを理解をする				白木 豊
14回目	呼吸とガスの運搬 呼吸気量: 呼吸気量の分画について学ぶ。さらに、障害時に同分画の変化について理解する				白木 豊
15回目	呼吸とガスの運搬 ガス交換・呼吸の調節: 肺におけるガス交換(酸素と二酸化炭素のやりとり)の概要を理解する				白木 豊
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 生理学 第5版. 医学書院 配布資料				
成績評価	定期テスト85%、小テスト15%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>講義は、教科書を基本とした資料をパワーポイントでプレゼンテーションしながら進める(資料は配布する)。また、毎回授業内容についての自習小テストを施行する。ほとんどの事柄がはじめて学ぶことであるので、当然理解出来ないことが多い。</p> <p>ゆえに、出来る限り講義を受けたその当日に、自習小テストを利用した復習を行い、疑問点を洗い出してもらいたい。(各30分)</p> <p>講義および自習小テストの内容についての質問に関しては、講義内はもちろん講義外もできるだけいねいに対応したいと思っている。</p> <p>学生諸君の能動的な講義姿勢を期待する。</p>					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	生理学Ⅲ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	月曜・2限
担当教員	白木 豊				
授業概要	生理学Ⅲでは、「体内環境」を維持するための重要なシステムである泌尿器系、生命維持に必須の消化・吸収、神経系と並んで生体の維持を行っている内分泌系について講義する。また、内分泌に関連させて「種を保存する働き」である生殖器系についても言及したい。さらに代謝・体温・運動生理学について概要を講義する。				
学習目標	1尿の生成:①ネフロン構造と走行について説明できる ②腎小体におけるろ過の条件について説明できる ③尿細管における再吸収・分泌について概説できる ④クリアランスについて述べることができ、腎機能との関連について説明できる ⑤酸塩基平衡とその異常について説明できる 2消化・吸収 ①管内消化と終末消化について概説できる ②消化管ホルモンについて説明できる ③腸肝循環について概説できる 3内分泌 ①視床下部-下垂体系について説明できる ②各種ホルモンの作用機序について説明できる ③ホルモンの調節機序について概説ができる 4代謝・体温・生殖器系・運動生理のそれぞれについて概説ができる				
回数					担当教員
1回目	尿の生成と排泄 総論:腎臓の組織学的構造を理解するとともに、腎臓の機能について総括的な概念を得る				白木 豊
2回目	尿の生成と排泄 尿の生成:腎小体でのろ過の条件、尿細管各部でのろ過液の修飾について理解する				白木 豊
3回目	尿の生成と排泄 クリアランス:腎クリアランスの概念を理解したうえで、腎機能との関連を学ぶ				白木 豊
4回目	尿の生成と排泄 酸塩基平衡:体内のpHを一定に保つ働きを腎臓と呼吸から理解する				白木 豊
5回目	消化と吸収 総論:消化・吸収の概要、特に機械的消化と化学的消化について理解する				白木 豊
6回目	消化と吸収 管内消化、膜消化、吸収:消化管の各臓器における消化を学んだ後、膜消化・吸収について理解する				白木 豊
7回目	消化と吸収 膵臓・胆嚢・肝臓:消化器系の付属臓器である膵臓・胆嚢・肝臓の働きを理解する				白木 豊
8回目	内分泌 総論:内分泌腺と各ホルモンを理解した上で、ホルモンの作用機序の違いを理解する				白木 豊
9回目	内分泌 視床下部-下垂体系:視床下部ホルモン-下垂体ホルモンの関連を下垂体前葉と後葉に分けて理解する				白木 豊
10回目	内分泌 各論①:甲状腺・副腎・膵臓の各ホルモンの作用について理解する				白木 豊
11回目	内分泌 各論②:性腺・消化管ホルモンその他のホルモンの作用について理解する				白木 豊
12回目	代謝・体温:体内代謝の概要を理解すると同時に、代謝と関係の深い体温の調節機構について理解を深める				白木 豊
13回目	生殖器系:女性の性周期をホルモンとの関係で理解する。男性の精子の形成、勃起、射精の概要を理解する				白木 豊
14回目	運動生理:運動時における生体の変化を、循環・呼吸・代謝との関連で理解する				白木 豊
15回目	まとめ				白木 豊
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 生理学 第5版. 医学書院 配布資料				
成績評価	定期テスト85%、小テスト15%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
生理学Ⅱと同様、講義は、教科書を基本とした資料を、パワーポイントでプレゼンテーションしながら進める(資料は配布する)。また、毎回授業内容についての自習小テストを施行する。					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	運動学Ⅱ	授業形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	PTⅠ・1年次
				曜日・時限	月曜日・4限
担当教員	笠原 靖子				
授業概要	<p>・①姿勢について②歩行と走行について③運動学習が大きな枠組みになります。この3つの分野に対しての専門用語を覚えてもらうことになります。皆さんは専門用語を説明できるように理解してください。</p> <p>・運動学習は理論的な話が多くなります。みなさんが将来的に患者の治療にあたる際にプログラムの立案をする際に非常に重要な内容を含んでいます。</p>				
学習目標	<p>1. バイオメカニクス、姿勢の安定性などの観点から正常の種類と異常姿勢について理解できる。</p> <p>2. 歩行(歩行周期、運動学的分析、筋活動等)について正常範囲と異常歩行について理解できる。</p> <p>3. 走行、階段と踏台の昇降、車椅子の推進について理解できる。</p> <p>4. ランチョロスアミゴスと基礎運動学での歩行の用語が比較して理解できる。</p> <p>5. 運動学習が理解できる。</p>				
回数					担当教員
1回目	姿勢①	バイオメカニクス			笠原 靖子
2回目	姿勢②	重心、立位姿勢の安定性を理解することができる。			笠原 靖子
3回目	姿勢③	姿勢の記載と類型することができる。			笠原 靖子
4回目	姿勢④	立位姿勢の正常と異常について理解できる。			笠原 靖子
5回目	小テスト	まとめ			笠原 靖子
6回目	歩行と走行①	歩行周期について理解することができる。			笠原 靖子
7回目	歩行と走行②	歩行の運動学的分析ができる。			笠原 靖子
8回目	歩行と走行③	歩行の分析、筋活動、エネルギー代謝について理解できる。			笠原 靖子
9回目	歩行と走行④	小児の歩行、高齢者の歩行、異常歩行について理解できる。			笠原 靖子
10回目	歩行と走行⑤	ランチョロスアミゴスの歩行用語と内容について学ぶ①			笠原 靖子
11回目	歩行と走行⑥	ランチョロスアミゴスの歩行用語と内容について学ぶ②			笠原 靖子
12回目	歩行と走行⑦	ランチョロスアミゴスの歩行用語と内容について学ぶ③			笠原 靖子
13回目	歩行と走行⑧	ランチョロスアミゴスの歩行用語と内容について学ぶ④			笠原 靖子
14回目	運動学習①	運動学習の神経生物学、練習と訓練について理解できる。			笠原 靖子
15回目	小テスト	まとめ			笠原 靖子
教科書及び参考書	基礎運動学 第6版 補訂、観察による歩行分析、歩行分析ワークブック 改定第2版 配布プリント				
成績評価	定期試験(60%) 小テスト(40%) ※出席1回:3点 遅刻1回1点減点とする。				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>姿勢や歩行は理学療法士として常に観察する動作であり、基本的な生体動作としてとても重要になります。姿勢や歩行に関する専門用語の意味や説明ができるようになるのはもちろんのこと、さらに姿勢や歩行・走行について運動力学的に理解することで、人間はなぜ歩けるのかということが少しずつ理解できるようになります。</p> <p>運動学習は、人間が運動を覚える為にはどうしたらよいかを学びます。皆さんが理学療法士になってから患者のプログラムを立てる際にどのようにしたら患者に対してより良いプログラムを立てられるのかに役立てていきます。</p>					

ソーシャルワーク演習 I (3221)		遠藤修正		併修科目・必修	
				PT1年	
				火曜1限	
授業のねらい	<p>ソーシャルワーク演習の主な学習方法は、グループ討議、文献調査、社会調査、情報収集、面接技法、ロールプレイ、モデリング等の多様な方法を用いて社会福祉実践の知識と技能を具体的に学習することを目的としている。</p> <p>ソーシャルワーク演習 I は「ソーシャルワークの基礎」という位置づけとなり、個人、集団、地域といった、いわゆるソーシャルワーカーが支援の対象とするクライアントシステムについて基礎的な理解を図るとともに、働きかけの方法としての基本的なコミュニケーション、システムの特徴について学習する。</p>				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	ソーシャルワーク実践の対象(ケース、グループ、コミュニティ)とその特徴、支援者に求められる技術について述べよ。		下書	11/7(火)9:30締切
	(ポイント)	ケース、グループ、コミュニティそれぞれの特性を整理したうえで、自己覚知、基本的なコミュニケーション技術を前提とする必要な技術についてまとめる。		清書	12/12(火)10:50締切
	科目終了試験	2. ソーシャルワークの展開過程と専門的視点 4. グループワークの実践について 5. 生活の基盤としてのコミュニティに関する理解について		科目終了試験12月19日 (火) 実施予定	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表			
1	ガイダンス、「ソーシャルワーク演習 I のねらいと概念」				
2	自己覚知(個人)、基本的コミュニケーションの方法、面接技法				
3	レポート1対策①「ケースワークのプロセスと技術」				
4	レポート1対策②「グループワークのプロセスと技術」				
5	レポート1対策③「コミュニティワークのプロセスと技術」				
6	下書きレポート作成				
7	科目終了試験1の対策				
8	科目終了試験1の1,200字レポート作成・締切				
9	科目終了試験2の対策				
10	科目終了試験2の1,200字レポート作成・締切				
11	科目終了試験3の対策				
12	科目終了試験3の1,200字レポート作成・締切				
13	清書レポート作成				
14	まとめ「科目終了試験」受験対策 ※レポート3本返却				
15	科目終了試験				
期末試験					
成績 評価	出席率	30点	80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。		
	期末試験	50点	持ち込み:可、論述式		
	授業内評価	20点	提出状況、授業態度を考慮して加算する。		
備 考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントの厳守は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	保健体育	授業形態	演習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	火曜日 2・3限
担当教員	春田典三				
授業概要	・健康スポーツの授業を通じて体力の保持増進を図り、生涯スポーツに繋がる知識を習得することを目的とし、スポーツを楽しむ心を養う。				
学習目標	・各種スポーツを通じて体力の向上を目指し、健康な学生生活を過ごす事を第一目標とする。 ・さらに、各種目の特徴を理解し、楽しさを覚え、生涯スポーツに繋がる教養を身につける事を第二の目標とする。				
回数					担当教員
1回目	オリエンテーション				春田典三
2回目	バレーボール・基本練習(前半)				春田典三
3回目	バレーボール・ゲーム(後半)				春田典三
4回目	バレーボール・応用練習(前半)				春田典三
5回目	バレーボール・ゲーム(後半)				春田典三
6回目	卓球・基本練習(前半)				春田典三
7回目	卓球・ゲーム(後半)				春田典三
8回目	卓球・応用練習(前半)				春田典三
9回目	卓球・ゲーム(後半)				春田典三
10回目	バスケットボール・基本練習(前半)				春田典三
11回目	バスケットボール・ゲーム(後半)				春田典三
12回目	バスケットボール・応用練習(前半)				春田典三
13回目	バスケットボール・ゲーム(後半)				春田典三
14回目	バドミントン・基本練習(前半)				春田典三
15回目	バドミントン・ゲーム(後半)				春田典三
教科書及び参考書	特になし				
成績評価	出席30%、授業貢献度50%(授業準備、後片付け、チームワーク等) 実技試験20%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の時は体育・スポーツに相応しい服装で参加すること。 2. 欠席・遅刻・早退は原則厳禁です。やむを得ない場合は、届を提出すること。 3. 企画・運営の際、仲間意識を高め、準備をしっかり行えるように努めること。 					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	体表解剖学Ⅱ	授業形態	講義 (演習)・実習	学科・年次	PTⅠ・1年次
				曜日・時限	水1.2限
担当教員	村田 薫克 笠原 靖子 後藤 洋平 水野 靖廣 平間 亮				
授業概要	理学療法士に必要な知識(骨、関節、筋肉など)を教科書や標本を基に学生自らの身体を使って、見て、触って、(実際に体を書いて)覚えてもらいます。前期は主に下肢について学んだと思います。後期は上肢・体幹を中心に触察を行っていきます。また、前期に学習した解剖学や生理学、運動学の知識を随時取り入れ、今までに習ったことが人体にかかわっていることを身をもって感じられるような授業にしていきます。				
学習目標	①解剖学、運動学的基礎知識の向上と定着を図る。 ②骨、関節、筋肉の構造と機能を立体的に覚える。 ③実際に人体から骨、関節、筋肉をイメージし、どのように関節が動くのかを想像することができる。 ④身体を触っただけで、どこをの骨、何の筋肉を触っているのかをイメージできるくらいに触察に慣れてもらう。 ⑤実技試験を全員が一発でクリアする。				
回数		担当教員			
1回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (体幹前面 スケッチ①)	村田/笠原/後藤			
2回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (体幹前面 スケッチ②)	村田/笠原/後藤			
3回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (体幹後面 肩甲骨 スケッチ①)	村田/笠原/後藤			
4回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (体幹後面 肩甲骨 スケッチ②)	村田/笠原/後藤			
5回目	小テスト・骨模型を用いて骨格及び筋肉の走行を確認(体幹後面 肩甲骨)	村田/笠原/後藤			
6回目	応用知識の向上 触診(体幹 肩甲骨 骨①)	村田/笠原/後藤			
7回目	応用知識の向上 触診(体幹 肩甲骨 骨②)	村田/笠原/後藤			
8回目	応用知識の向上 触診(体幹後面 筋:広背筋・大小菱形筋)	村田/笠原/後藤			
9回目	骨模型を用いて骨格及び筋の走行を確認・応用知識の向上 触診(筋:棘上筋・棘下筋)	村田/笠原/後藤			
10回目	応用知識の向上 触診(筋:小円筋・大円筋・僧帽筋)	村田/笠原/後藤			
11回目	体幹・肩甲骨周囲復習①起始停止・作用・神経・骨名称等	村田/笠原/後藤			
12回目	体幹・肩甲骨周囲復習②起始停止・作用・神経・骨名称等	村田/笠原/後藤			
13回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (上肢屈筋群 スケッチ①)	村田/笠原/後藤			
14回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (上肢屈筋群 スケッチ②)	村田/笠原/後藤			
15回目	小テスト・骨模型を用いて骨格及び筋肉の走行を確認(上肢屈筋群)	村田/笠原/後藤			
16回目	応用知識の向上 触診(上肢 骨①)	村田/笠原/後藤			
17回目	応用知識の向上 触診(筋:三角筋・上腕二頭筋)	村田/笠原/後藤			
18回目	応用知識の向上 触診(筋:三角筋・上腕二頭筋)	村田/笠原/後藤			
19回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (上肢伸筋群 スケッチ①)	村田/笠原/後藤			
20回目	基礎知識の向上 骨、筋の構造及び名称 (上肢伸筋群 スケッチ②)	村田/笠原/後藤			
21回目	小テスト・骨模型を用いて骨格及び筋肉の走行を確認(上肢伸筋群)	村田/笠原/後藤			
22回目	応用知識の向上 触診(上肢 骨②)	村田/笠原/後藤			
23回目	応用知識の向上 触診(筋:上腕三頭筋・肘筋)	村田/笠原/後藤			
24回目	応用知識の向上 触診(筋:長・短橈側手根伸筋・尺側手根伸筋)	村田/笠原/後藤			
25回目	上肢復習①起始停止・作用・神経・骨名称等	村田/笠原/後藤			
26回目	上肢復習②起始停止・作用・神経・骨名称等	村田/笠原/後藤			
27回目	かるた大会①	村田/笠原/後藤			
28回目	かるた大会②	村田/笠原/後藤			
29回目	最終実技テスト(実技試験①)	PT教員			
30回目	最終実技テスト(実技試験②)	PT教員			
教科書及び参考書	・プロメテウス解剖学アトラス解剖学総論/運動器系 白Tシャツを持参 ・標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版 ・運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢、下肢、体幹 改訂第2版 ・触 察:白Tシャツ(ペンで記入します)、(ボスカ[参考]、バスタオル)				
成績評価	定期試験(30%)実技試験(50%)小テスト(20%) ※出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減) ※授業態度不良も減点				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
骨・関節・筋肉を実際に触って、体に描いてもらうことで、骨や筋の形、部位名を覚えてもらうのはもちろん、どの筋によってどの関節が動くのかを理解できるように積極的に取り組んでいただきたいです。 なお、体表解剖学は前期の下肢と同様に、理学療法士の基礎となる大切な授業です。理学療法士になるための勉強は日々の積み重ねです。また人を相手にする仕事は教科書に当てはまらないことが多々あります。よって自ら行動し、自ら学ぶ気持ちをもって取り組まなくては医療技術に関する実技は身につかないので、真摯に勉強してください。 ※実技科目のため授業内容及び進度は必要に応じて変更する場合があります。その際は事前に連絡します。					

死生学(1951)		大兼健寛		併修科目・必修	
				1年	
				PT水曜3限	
授業のねらい	今日、日本では脳死、臓器移植、尊厳死などに代表される生命の在り方について社会的な関心が高まっている。本科目では、これらの事柄に対する思索を深めるなかで、一般的な死生学の思想や実践とは何かを考察し、その上で死、苦、老の問題や生命倫理における倫理的ジレンマ、意思決定などの諸側面について言及する。また、死の背後にある宗教観、倫理観についても諸外国の例を紹介しながら考察を深める。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	「生命」の自己決定に関する事柄について意見を述べよ。		下書	10月25日(水)授業内
	(ポイント)	死の判定や臓器移植、さらには告知やリビングウィルなどの事柄を通して、自分が気が付いた事や考えた問題点、課題を明らかにすること。		清書	11月29日(木)授業内
	レポート 2				
	(ポイント)				
	科目終了試験	学習のポイント・3 インフォームドコンセントについて 学習のポイント・4 ホスピスの役割について 学習のポイント・5 リビング・ウィルについて		科目終了試験12月20日(火)実施予定	
期末試験・スクーリング終了試験	詳細は、後日発表				
1	ガイダンス、「死」について考えてみる				
2	死についての医学的考察・脳死				
3	インフォームド・コンセント				
4	リビング・ウィル				
5	下書きレポート作成				
6	学習のポイント・3 インフォームドコンセントについて				
7	1250字レポート作成&締切				
8	学習のポイント・4 ホスピスの役割について				
9	1250字レポート作成&締切				
10	清書レポート作成				
11	学習のポイント・5 リビング・ウィルについて				
12	1250字レポート作成&締切				
13	古今東西の「死」の概念について				
14	科目終了試験対策				
15	科目終了試験				
	期末試験				
成績 評価	出席率	30点	80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。		
	期末試験	50点	持ち込み:可、論述式		
	授業内評価	20点	提出状況、授業態度を考慮して加算する。		
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。 レポート・学習のポイントのA切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	死生学	授業形態	講義 演習・実習	学科・年次	理学療法学科 1年
				曜日・時限	水曜日・3限
担当教員	大兼健寛				
授業概要	日本では脳死、尊厳死などに代表される生命の在り方について社会的な関心が高まっている。 本科目では、これらの事柄に対する思索を深めるなかで、「生命」の自己決定について考える。				
学習目標	①死の判定や脳死について理解する②インフォームド・コンセントについて理解する ③ホスピスの役割について理解する④リビング・ウィルについて理解する ①～④の事柄を通して、生命倫理、人の尊厳を幅広く理解する				
回数					担当教員
1回目	ガイダンス、「死」について考えてみる				大兼健寛
2回目	死についての医学的考察・脳死の概要				大兼健寛
3回目	インフォームド・コンセントの概要				大兼健寛
4回目	リビング・ウィルの概要				大兼健寛
5回目	死の判定や脳死、告知やリビング・ウィルにおける課題①				大兼健寛
6回目	インフォームドコンセントにおける知る権利①				大兼健寛
7回目	インフォームドコンセントにおける知る権利②				大兼健寛
8回目	ホスピスの役割①				大兼健寛
9回目	ホスピスの役割②				大兼健寛
10回目	リビング・ウィルにおける「死を自分でデザインする」について①				大兼健寛
11回目	リビング・ウィルにおける「死を自分でデザインする」について②				大兼健寛
12回目	死の判定や脳死、告知やリビング・ウィルにおける課題②				大兼健寛
13回目	もう一度、「死」について考えてみる				大兼健寛
14回目	テスト対策				大兼健寛
15回目	まとめ(小テスト)				大兼健寛
教科書及び参考書	星野一正『医療の倫理』岩波新書				
成績評価	出席率30%、期末試験50%、授業内評価20%				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
グループディスカッションを取り入れた授業を行いますので、主体的に取り組んで下さい。 レポート等提出物の締切は厳守して下さい。 「死」について、他人ごとではなく、自分ごととして捉え、しっかり取り組んで下さい。					

福祉と教育(1331)		吉安 功一		併修科目・必修	
				1年	
				PT・OT水曜4限	
授業のねらい	これからの時代に求められるのは、正解が一つではない問題を考え、課題探究できる分析力と思考力を備えた人材を教育することである。そのためには、これまでわが国で主流とされてきた、一方通行型、知識注入型の教育方法を改め、学生が主体となって学修に取り組める学習環境を構成していかなければならない。福祉の時代に向けて真に必要な諸能力は何かを分析し、21世紀に求められる福祉人のあり方について考察する。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	教科書『最新 できなかった子をできる子にするのが教育』全体を通して学んだこと、及び「福祉と教育」を学ぶことの意義について述べよ。	下書	11月1日(水)	
	(ポイント)	福祉と教育は大変よく似ている。両者の共通点や問題点などを踏まえた上で、「福祉と教育」という科目を学ぶことの意義について自分の将来と結びつけながら考えまとめて欲しい。	清書	12月6日(水)	
	レポート 2				
	(ポイント)				
科目終了試験	学修のポイント・1 日本で行われていた教育方法について 学修のポイント・2 これからの大学教育について 学修のポイント・4 バイスティックの7原則について			科目終了試験 日程調整中	
期末試験・スクーリング後試験	詳細は、後日発表				
1	オリエンテーション 教育と福祉について				
2	現代教育の問題点				
3	現代福祉の問題点				
4	教育と福祉の共通点・問題点				
5	これからの教育と福祉				
6	下書きレポート作成				
7	学修のポイント・1 日本で行われていた教育方法について				
8	1250字レポート作成&締切				
9	学修のポイント・2 これからの大学教育について				
10	1250字レポート作成&締切				
11	清書レポート作成				
12	学修のポイント・4 バイスティックの7原則について				
13	1250字レポート作成&締切				
14	科目終了試験及び期末試験対策				
15	「福祉と教育(1331)」科目終了試験(持ち込み不可)				
期末テスト					
成績評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。			
	期末試験	50点 持ち込み可、論述式			
	授業内評価	20点 提出状況、授業態度を考慮して加算する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。 レポート・学習のポイントのA切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	動作分析学 I	授業形態	講義 演習 ・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	木曜・1限
担当教員	平間 亮				
授業概要	疾患や外傷で、我々の日常生活は大きな影響を受ける。それは日常生活動作の遂行が困難になったことに起因している。理学療法士は、その動作遂行困難になった原因をみつけ出し、治療につなげる必要がある。しかし、その原因をみつけ出すことは容易ではない。観察で得られる正常動作と異常動作の違いは、単なる現象の違いであって、そこに原因が存在する可能性は低い。原因を効率よく的確にみつけ出すためには、動作観察を動作分析に結びつけ、動作を可能とするメカニズムのどこが障害されているかを把握することが絶対的に必要となる。人間の動作は外的環境に適応して動作を引き出している。日常生活で人が動くとき、身体重心をどのようにコントロールしているか、すなわち正常動作のメカニズムを理解することで異常動作の原因をみつけ出せるようになることを目標とする。				
学習目標	動作観察ができるようになる(観察したことをポイントを押さえてスティックピクチャーを作成できる) 重力下での人の動きを理解する(重心と床反力の関係を理解する) 正常な姿勢制御のメカニズムを理解する 正常歩行の基本(運動学)を理解する 正常歩行のメカニズム(動作分析)を理解する。				
回数					担当教員
1回目	動作分析が臨床の現場でどのように役立つのか理解する。				平間亮
2回目	バイオメカニクス(てこ、加速度運動、床反力、モーメント)について				平間亮
3回目	寝返り動作の正常動作(屈曲・伸展パターン、相)と異常動作について				平間亮
4回目	起き上がり動作の正常動作(長坐位・座位パターン、相)と異常動作について				平間亮
5回目	起立・着座動作(上肢機能の影響、相)と異常動作について				平間亮
6回目	相別による歩行時の関節運動、筋活動、床反力について				平間亮
7回目	歩行動作を可能にするメカニズム(ロッカー機能、重心移動)について				平間亮
8回目	異常歩行(動揺性歩行、鶏歩、膝折れ、内反尖足、分回し歩行)について				平間亮
9回目	小テスト、まとめ				平間亮
10回目	スティックピクチャー作成方法と動作撮影について				平間亮
11回目	動画よりスティックピクチャーの作成				平間亮
12回目	変形性膝関節症の起立動作を観察してスティックピクチャーの作成				平間亮
13回目	筋萎縮性側索硬化症の歩行動作を観察してスティックピクチャーの作成				平間亮
14回目	VAICON体験し床反力をどのように計測できるか確認する。				平間亮
15回目	まとめ				平間亮
教科書及び参考書	運動・からだ図解 動作分析の基本 観察による歩行分析				
成績評価	定期試験(70%)、小テスト(10%)、課題(20%)出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
動作分析は理学療法士に必須の知識となるため、必ず授業毎に復習して、疑問点は必ず質問して理解してください。先の臨床実習で実習指導者が行う治療プログラムは動作分析をもとに考えられています。理解できないと実習指導者の説明の理解が困難になります。運動学と同期する内容があるため、結びつけて学習しましょう。					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	解剖学Ⅳ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT・1年
				曜日・時限	木曜2限
担当教員	丹羽 千春				
授業概要	神経系の解剖学を学習する。神経系は、個体の生存や種族の維持のために内外の環境変化に適応できるように発達してきた精緻な器官である。収集された情報を処理する中枢神経系、情報や指令の伝達に關与する末梢神経系について理解する。				
学習目標	神経系の基本的な構成について理解する。 脊髄および脳の構造を理解し、機能と関連づけて説明できる。 脊髄神経・脳神経・自律神経系の基本構成を学ぶ。 脊髄神経と脳神経の走行、特に上肢・下肢に分布する神経叢の走行と傷害されやすい部位を学ぶ。				
回数					担当教員
1回目	神経系総論(P.229-P.240)				丹羽 千春
2回目	中枢神経系①脊髄(P.241-P.245)				丹羽 千春
3回目	中枢神経系②脳幹(P.245-P.251)				丹羽 千春
4回目	中枢神経系③小脳(P.251-P.255)				丹羽 千春
5回目	中枢神経系④大脳:間脳・大脳半球の表面と区分・皮質と髄質(P.256-P.263)				丹羽 千春
6回目	中枢神経系⑤大脳:大脳皮質の局在性・大脳基底核(P.263-P.267)				丹羽 千春
7回目	中枢神経系⑥上行性神経路(P.268-P.274)下行性神経路(P.274-P.277)				丹羽 千春
8回目	小テスト(前半)				丹羽 千春
9回目	末梢神経系①脊髄神経:頸神経叢(P.278-P.282)				丹羽 千春
10回目	末梢神経系②脊髄神経:腕神経叢(P.282-P.289)				丹羽 千春
11回目	末梢神経系③脊髄神経:胸神経・腰神経叢・仙骨神経叢・尾骨神経叢(P.289-P.300)				丹羽 千春
12回目	末梢神経系④脳神経-1(P.300-P.310)				丹羽 千春
13回目	末梢神経系⑤脳神経-2(P.300-P.310)				丹羽 千春
14回目	末梢神経系⑥自律神経(P.311-P.314)				丹羽 千春
15回目	小テスト(後半)				丹羽 千春
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版、医学書院				
成績評価	期末試験80%、授業内確認テスト及び提出課題20%、出席・授業態度は試験点数不足時に考慮				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>しっかりと予習・復習をし、必要な内容を簡潔にまとめたり、イラストや図でイメージ学習を心がけてください。 解剖学用語は覚えるしかないので繰り返し学習することで覚えましょう！何度もやれば脳が学習して記憶します。</p>					

少年と犯罪(1171)		大兼健寛		併修科目・必修	
				1年	
				PT木曜3限	
授業のねらい	少年による犯罪・非行の現状と時代による変化の様相、少年非行に対する警察・裁判の取り組み、児童福祉・少年院・保護観察所などの諸機関における各処遇システムについて理解を深め、更には犯罪・非行の発生機序について素質と環境の両面から解明を試みる。また効果的な治療、処遇の方法、犯罪・非行の被害者支援等についても考察する。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	わが国における少年非行の特徴とその対策について述べよ。	下書	10月26日(木)授業内	
	(ポイント)	わが国における犯罪・非行の量的及び質的变化、犯罪者・非行少年対策の歴史的推移について理解すること。犯罪・非行の現状、犯罪者・非行少年がどのように処遇され、そこにはどのような機関、人々が関わっているのかを理解すること。	清書	12月21日(木)授業内	
	レポート 2				
	(ポイント)				
	科目終了試験	学習のポイント・2 少年非行の定義について 学習のポイント・3 少年非行とマスメディア、ネット社会について 学習のポイント・5 少年の矯正・更生保護について		科目終了試験1月11日(木)実施予定	
期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表				
1	少年非行の歴史的展開				
2	少年非行の定義				
3	少年非行の原因諸理論				
4	少年非行の諸相				
5	下書きレポート作成①				
6	下書きレポート作成②				
7	学習のポイント・2 少年非行の定義について レポート作成&締切				
8	学習のポイント・3 少年非行とマスメディア、ネット社会について				
9	1250字レポート作成&締切				
10	学習のポイント・5 少年の矯正・更生保護について				
11	1250字レポート作成&締切				
12	清書レポート作成				
13	秩序・逸脱・刑罰				
14	科目終了試験対策				
15	「少年と犯罪(1171)」科目終了試験				
	期末試験兼スクーリング修了試験				
成績評価	出席率	30点	80%以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。		
	期末試験	50点	持ち込み:可、論述式		
	授業内評価	20点	提出状況、授業態度を考慮して加算する。		
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。				
	レポート・学習のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です(欠席又は遅刻扱いにします)。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます(くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます)。出席は、80%以上が求められます。80%を下回ることであれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。				

法学 I (憲法)(1391)		大兼健寛		併修科目・必修	
				1年	
				PT 木曜4限	
授業のねらい	本科目では、日本国憲法における諸原理について理解し、法学・法律・法令などの概念を学修することを旨とする。一般教養的な憲法原理はもとより、人権意識や、「国家－国民」という構図においてみられる統治という概念に「法」がどのような作用をしているかなど、広い視野で憲法や法令などをみていく。そして、自身の法学に対する考察ができることを目的とする(目標ではない、目的である)。				
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。				
設 題	レポート 1	日本国憲法に定める自由権、とりわけ精神的自由権について詳述せよ。	下書	11月2日(木)授業内	
	(ポイント)	まず、日本国憲法に定められている自由権にはどのようなものがあるのか述べ、そしてその中でも精神的自由権について詳しく解説すること。さらに、この科目を受講した上での、「自由」というものを丁寧かつ論理的に考察すること。	清書	11月30日(木)授業内	
	レポート 2				
	(ポイント)				
	科目終了試験	学習のポイント・1 日本国憲法の法の下での平等について 学習のポイント・2 日本国憲法の基本原理について 学習のポイント・6 日本国憲法における司法権独立について			科目終了試験1月11日(木)実施予定
期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表。				
1	オリエンテーション・日本国憲法の諸原理と「人権」概念				
2	日本国憲法の定める自由権①				
3	日本国憲法の定める自由権②				
4	「法」と「自由」について				
5	下書きレポート作成①				
6	下書きレポート作成②				
7	学習のポイント・1 日本国憲法の法の下での平等について(レポート締切は第8回授業内)				
8	学修のポイント・2 日本国憲法の基本原理について①				
9	学修のポイント・2 日本国憲法の基本原理について②(レポート締切は第10回授業内)				
10	清書レポート作成				
11	学習のポイント・6 日本国憲法における司法権独立について(レポート締切は第12回授業内)				
12	法学・法哲学・法思想				
13	法と統治の構造、そしてアンチテーゼとしてのアナーキズム				
14	科目終了試験対策				
15	「法学 I (憲法)」科目終了試験(持ち込み不可)				
	期末試験				
成績評価	出席率	30点 80% 以上、出席すること。欠席1回で-10点、遅刻1回で-3点。			
	期末試験	50点 論述式、持ち込み:可			
	授業内評価	20点 レポート・1200字のまとめの内容、提出状況、授業態度を考慮して評価する。			
備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。 本講義は、法学という極めて難解で繊細な分野を学ぶ。心して受講せよ。授業中の居眠り・おしゃべり等、学生にあるまじき行為があった場合(勿論、ディスカッション・グループワーク等は除く)、1度目は注意、2度目は退場させた上で欠席とし、学科長と担任教員に報告した上で、個別面談を行うつもりであるので覚悟せよ。また、各学生に法的・政治的・環境的・宗教観的イデオロギーがあるかも知れないが、それを他人に無理矢理押し付けることは許されないことであり、他人の自由権を侵す「罪人」であり、「恥」であることを知れ。				

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	解剖学Ⅲ	授業形態	講義・演習・実習	学科・年次	PT1
				曜日・時限	金曜1限
担当教員	王 静舒				
授業概要	解剖学Ⅲでは、運動器系を分担する。骨、軟骨、関節、靭帯によって骨格系が構成され、筋系とともに運動器系を形成する。前期の細胞・組織などの知識を思い出しながら、骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を系統的に学ぶ。				
学習目標	①骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明でき、さらに理解を深める。 ②運動器の構造と機能に関して、骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を説明できる。 ③四肢の骨・関節を説明でき、主な骨の配置を図示できる。 ④頭蓋、脊柱、胸郭、骨盤の構成を説明できる。				
回数					担当教員
1回目	骨格総論 (Page37-45) : 骨の構造や発生				王 静舒
2回目	骨格各論A頭蓋① (Page46-51) : 外面・内面から見た頭蓋				王 静舒
3回目	骨格各論A頭蓋② (Page51-57) : 新生児の頭蓋冠・頭蓋を構成する個々の骨				王 静舒
4回目	骨格各論B脊柱 & C胸郭 (Page58-67) : 脊柱と胸郭の構成と特徴 & 個々の骨の名称や数				王 静舒
5回目	骨格各論D上肢の骨 (Page68-77) : 上肢帯 & 自由上肢骨、骨の名称や数				王 静舒
6回目	骨格各論E下肢の骨①下肢帯 (Page78-82) : 骨の名称や数、骨盤の構成				王 静舒
7回目	骨格各論E下肢の骨②自由下肢骨 (Page82-92) : 個々の骨の名称や数				王 静舒
8回目	関節靭帯総論 (Page97-112) : 連結の種類、関節の構造と機能、関節の分類 & 機能				王 静舒
9回目	関節靭帯各論A頭蓋の連結 (Page113-117) : 顎関節の特徴、脊柱の連結				王 静舒
10回目	関節靭帯各論B脊柱、脊柱と頭蓋及び胸郭の連結① (Page118-120) : 脊柱と頭蓋の連結				王 静舒
11回目	関節靭帯各論B脊柱、脊柱と頭蓋及び胸郭の連結② (Page120-122) : 胸郭の連結				王 静舒
12回目	関節靭帯各論C上肢の連結① (Page123-132) : 上肢帯の連結と自由上肢骨の連結				王 静舒
13回目	関節靭帯各論C上肢の連結② (Page132-137) : 手の連結				王 静舒
14回目	関節靭帯各論D下肢の連結① (Page137-147) : 下肢帯の連結と自由下肢骨の連結				王 静舒
15回目	関節靭帯各論D下肢の連結② (Page148-154) : 足の連結				王 静舒
教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 解剖学(第5版)(医学書院)				
成績評価	期末試験(筆記試験)(70%)、授業内確認テスト及び提出課題(15%)、出席(15%)などで総合的評価				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
①授業前の予習は大事！初耳の専門用語は繰り返し音読してみる ②授業中、配布資料を参考してメモやノートをしっかりとる ③授業中の質問 & 問題を積極的に考えて答える ④授業後の復習はしっかりとやる ⑤毎回の小テストは真面目に挑んでみる					

2023年度後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	検査・測定法Ⅱ	授業形態	講義・ 演習 ・実習	学科・年次	PTⅠ・1年次
				曜日・時限	金曜日 3、4限
担当教員	水野 靖廣 平間 亮				
授業概要	高齢者に対して日常的に機能維持の訓練が必要になります。その訓練を担当する理学療法士は、適切な訓練を実施するにあたり問題点を把握する必要があり問題点を抽出するためには本講義である評価の知識が必要です。主に関節可動域検査、徒手筋力検査、持久力、疼痛、脳神経、協調性といった正常動作において欠かせない能力の評価を学んでいきます。				
学習目標	①拘縮の種類、原因、治療方法を理解する。 ②関節可動域検査の目的を理解し、正確に測定しその結果を解釈することができる。 ③徒手筋力検査の目的を理解し、正確に測定しその結果を解釈することができる。 ④正常な運動と仕組み、障害を知るために持久力、疼痛、脳神経、協調性を理解し、正確に測定しその結果を解釈することができる。				
回数					担当教員
1回目	持久力について(運動耐容能、エネルギー供給機構、持久力の評価)について				水野 靖廣
2回目	持久力について(運動負荷試験の指標、目的、測定項目)について				水野 靖廣
3回目	ROMの基礎、拘縮(皮膚性・筋性・靭帯性・腱性拘縮・関節性拘縮)について				水野 靖廣
4回目	協調性について(運動失調、振戦、ジスметрия、変換運動障害、運動分解など)について				水野 靖廣
5回目	感覚について ※爪楊枝、ポケットティッシュ持参				平間 亮
6回目	疼痛について ※爪楊枝、ポケットティッシュ持参				平間 亮
7回目	協調性について(小脳の構造、協調性検査の実際)				水野 靖廣
8回目	筋緊張について				水野 靖廣
9回目	脳神経について① ※爪楊枝、ポケットティッシュ持参				平間 亮
10回目	脳神経について②				平間 亮
11回目	小テスト①				水野 靖廣/平間 亮
12回目	筋力検査の分類(客観・主観的評価)、種類(粗大、徒手:MMT)について				水野 靖廣/平間 亮
13回目	MMT(股関節屈曲、屈曲 外転 外旋と膝屈曲、伸展)				水野 靖廣/平間 亮
14回目	MMT(股関節外転、屈曲位からの股関節外転、内転)				水野 靖廣/平間 亮
15回目	MMT(股関節外旋、内旋)				水野 靖廣/平間 亮
16回目	MMT(膝関節屈曲、伸展)				水野 靖廣/平間 亮
17回目	ROM-T(股関節屈曲、伸展、外転、内転)				水野 靖廣/平間 亮
18回目	ROM-T(股関節外旋、内旋、膝関節屈曲、伸展)				水野 靖廣/平間 亮
19回目	小テスト②				水野 靖廣/平間 亮
20回目	MMT(足関節底屈、足関節の背屈と足の内がえし)				水野 靖廣/平間 亮
21回目	MMT(足の内がえし、足の底屈を伴う足の外がえし)				水野 靖廣/平間 亮
22回目	MMT(足趾)				水野 靖廣/平間 亮
23回目	ROM-T(足関節屈曲(底屈)、伸展(背屈)、外がえし、内がえし)				水野 靖廣/平間 亮
24回目	ROM-T(足関節外転、内転、回外、回内、足趾)				水野 靖廣/平間 亮
25回目	MMT(体幹伸展、骨盤挙上)				水野 靖廣/平間 亮
26回目	MMT(体幹屈曲、回旋)				水野 靖廣/平間 亮
27回目	ROM-T(体幹)				水野 靖廣/平間 亮
28回目	小テスト③				水野 靖廣/平間 亮
29回目	ROM-TとMMTの実技試験に向けての練習①				水野 靖廣/平間 亮
30回目	ROM-TとMMTの実技試験に向けての練習②				水野 靖廣/平間 亮
教科書及び参考書	新・徒手筋力検査法 第10版、理学療法評価学 第6版				
成績評価	実技テスト30%、定期テスト40%、小テスト30%、出席(欠席1回3点減点、遅刻1回1点減点)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
<p>検査・測定法は臨床において頻繁に実施する手技であり、国家試験においても多く出題される学問ですので理解する必要があります。そのためには事前に基礎科目である解剖学、生理学、運動学をしっかりと復習しておく必要があります。</p> <p>なお、本講義は座学のみでなくグループワークや実技を交えて展開していきます。そのため学生の皆さんの積極性、協調性が重要となります。全員で講義を作り上げましょう。</p> <p>授業内容及び進度は、理解度に応じ生理学の振り返りやコロナウイルス感染症など必要に応じ変更する場合があります。その際は事前に連絡します。柔軟に対応しましょう。</p>					

2023年度前後期 理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	見学実習事前・事後指導 I	授業形態	講義・演習 (実習)	学科・年次	PTI・前期、後期
				曜日・時限	実習前後
担当教員	木下みゆき、村田薫克、水野靖廣、後藤洋平、笠原靖子、平間亮				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実習中に必要となる基本的なパソコンスキルを学び、また、社会人・医療人としてのマナーや理学療法技術を学びます。 ・クエスチョンバンク(国家試験問題集)を利用して最終目標である国家試験対策を行います。 ・見学実習 報告会を通じて理学療法士の職域や技術を共有します。 				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的なパソコンの使い方、社会人・医療人としてのマナーを理解し習得する。 ②地域におけるリハビリテーションを理解する。 ③理学療法士としてのコミュニケーションと簡単な検査・測定を実践することができる。 ④OSCE(客観的臨床能力試験)を通じて適応能力を高める。 				
回数					担当教員
1回目 (前期)	ワード:ワードエクセルの違いについて・ページ設定・書式設定・文章の体裁				木下 みゆき
2回目 (前期)	ワード:表作成・差し込み印刷・イラスト挿入				木下 みゆき
3回目 (前期)	エクセル:エクセル基礎				木下 みゆき
4回目 (前期)	エクセル:データ挿入・簡単な関数・グラフ				木下 みゆき
5回目 (前期)	パワーポイント:パワーポイントを利用する意味・スライドの作成				木下 みゆき
6回目 (前期)	パワーポイント:画面切り替え・アニメーション・各書類の保存				木下 みゆき
7回目 (後期)	見学実習に向けて(臨床実習とは、実習に挑む姿勢とマナーなど)				水野 靖廣
8回目 (後期)	見学実習に向けて(実習を円滑に進めるためには、デイリーノートの書き方、守秘義務など)				水野 靖廣
9回目 (後期)	クエスチョンバンク 共通問題 (解剖学、運動学、生理学)①				水野 靖廣
10回目 (後期)	共通問題①小テスト及び共有、クエスチョンバンク 共通問題 (解剖学、運動学、生理学)②				水野 靖廣
11回目 (後期)	共通問題②小テスト及び共有、クエスチョンバンク 共通問題 (解剖学、運動学、生理学)③				水野 靖廣
12回目 (後期)	共通問題③小テスト及び共有、クエスチョンバンク 共通問題 (解剖学、運動学、生理学)④				水野 靖廣
13回目 (後期)	共通問題④小テスト及び共有				水野 靖廣
14回目 (後期)	OSCE(客観的臨床能力試験)へ向けてオリエンテーション、実技練習(問診、バイタル)など				水野 靖廣
15回目 (後期)	OSCE(客観的臨床能力試験)へ向けて実技練習(ROM、MMT)など				水野 靖廣
16回目 (後期)	実習資料回収、お礼状作成				水野 靖廣
17回目 (後期)	模擬試験復習及び共有①				水野 靖廣
18回目 (後期)	模擬試験復習及び共有②				水野 靖廣
19回目 (後期)	見学実習 実習報告会①				PT教員
20回目 (後期)	見学実習 実習報告会②				PT教員
教科書及び参考書	基礎から確認！PT臨床実習チェックリスト PTOTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 クエスチョンバンク 理学療法士、作業療法士 共通問題 その他の参考書は随時連絡する。				
成績評価	課題及び小テスト(50%)、模擬試験(40%)、お礼状(10%)、出席について(欠席1回3点減、遅刻1回1点減)				
学生へのメッセージ(受講上の留意点)					
初めての实習でパニックになってしまいう実習中断となってしまうケースも散見されます。これは、学内と病院・施設との環境の違い、初めての一人暮らし、評価されるプレッシャーなどのストレスが関与するところも大きいです。可能な限り準備をし実習中のストレスを軽減できるよう積極的に学習に励んでください。 ※前後期、通年で行いますので予定が前後することがあります。 ※感染症の状況により遠隔授業、内容変更の場合があります。					